

作戰緊急



○ 天一號 作戰部隊

● 沖

根

△

機密第〇二二二五一番電 二分ノ二三

沖根戰團速報第二三號

一 本朝來敵機ノ銃爆撃ハ超低空ニシテ那覇小祿地區延五〇〇機以上海軍側陣地ニ對シテモ記錄的熾烈ヲ極ム

二 敵機ノ來襲狀況ヨリ判斷スルニ新ナル空母ヨリ發艦セルモノト認ム

三 神山島ニ整備セシ陸軍砲陣地ハ多數ノ水上艦艇ニ協力上陸軍ノ推進ニ一部ハ味方陸軍陣地オロク飛行場等ニ對シテ日猛烈ナル射撃ヲ實施夜

通一六六二一六七ニ 天二〇〇(四九二五)在日二放 相澤・大石(吉) 田(一)

開始〇〇二二〇〇 〇〇二二〇〇 〇〇二二〇〇 〇〇二二〇〇 〇〇二二〇〇 〇〇二二〇〇 〇〇二二〇〇 〇〇二二〇〇 〇〇二二〇〇 〇〇二二〇〇

ニ入ルモ尚續行中

三 戰果ナシ(高角砲機銃彈藥缺亡ノ爲殆ンド應戰セズ)  
被害戰死下士官兵三名十四纏砲一使用不能兵舎二棟破壞其ノ他重輕  
機銃糧食等若干ノ被害アリ調査中。

開始 00 00 00

● 松山 空軍基地



● 一七 基部航空部隊 機報着信機所  
● 機部基地航空部隊 機報着信機所  
● 機部基地航空部隊 機報着信機所

機部第〇二二二一五一發電 二分ノ二

4-3

二 劣敵彩雲二機〇六匹〇發進一RFGB天電令作第三機ニ依ル劣敵ヲ實  
施シタル後昨晨ニ進出完了敵ヲ見\*

三 明日ノ實動  
紫電五〇機彩雲〇機。

● 電信課註 本電二分ノ一既配布  
通一七二二二 局一月廿七( ) B (木更津 傳略(下島))

4~2

作製緊急

昭和二十二年

共

符



○ 第一潜水部隊（先遣部隊）

○ 大本營海軍部・聯合艦隊司令部・聯合艦隊各司令部・神根府

○ 機務部 ○ 二二二一四八番電

先遣部隊司令部第五八號

一 第四潜水隊六潜水艇ハ四員口日吳出口神編本島近海ニ進出シ敵艦船

ノ奇襲攻撃ニ任マズシ配備後令ス

二 第四潜水隊六潜水艇ヲ甲潜水部隊ニ編入ス。

第一四九八 呂一〇（五二九五〇）六〇戸放 中村（吉 田）

天

四二 受信 〇二〇三〇〇〇〇

歸了 三〇一〇〇

鹿屋航空基地

作戰緊急



天號作戰部隊

機密 〇二五〇三一 番電

一 〇 〇 〇 〇 天信電令作第三四號  
二 〇 三 部隊指揮官、當分ノ間所要兵力ヲ以テ指揮官所定ニ依リ佐多脚  
ヲ中心トスル南方一〇〇哩圏ノ移動警戒ヲ實施スベシ。

通一五九五 呂一〇ケ七 (三七八三三三) 五FGB放 相澤 (秋 葉)

4~2

至 急

即

開始

〇二二

〇二二

〇二二

〇二二

〇二二

〇二二

〇二二

〇二二

〇二二

〇二二

〇二二

佐領區敵情着信盤所

密第〇二一九五七番電



沖繩本島周邊ニ連綿的ニ敵艦上機ノ來襲ヲ受ク主ニ飛行場ニ對シ緩慢ニ銃撃シ〇五〇五ヨリ一七三ノ間七回ニ亙リ延五〇機來襲友軍ノ戰果撃墜二機撃破三機被害ナシ。

通一六〇〇 於一四(四九一五四) 佐二放

星野(久保田)



4-2 4600

天

作戦要急

開始二〇四〇六

了二一五五

〇二一九八

作機〇

信

● ●

大島防備隊。一七輸送艦

加海上護衛隊。九五一空

機密〇二一九三八番

大島防備隊司令

其ノ隊ノ行動豫定ヲ報告スルト共ニ航空部隊ニ速報セヨ。

一四七一 天 〇八 (四カ一五三〇) 佐二放 才木 (久保田)

4-2.3

緊

急



先遣部隊

機密第〇二一九二三番電

三分ノ二ニシ

先遣部隊綜合情報第四九號

北中飛行場方面ニ上陸スル敵兵力ハ約二ヶ師團ニシテ一日一五

〇〇迄ニ北及中飛行場東端ニ達セルモ我陸上部隊ハ敢闘多大ナ

ク戦果ヲ擧ゲツツアリ湊川方面ノ敵ハ一日〇七二〇戦車二〇台

ヲ以テ距離八〇〇米ニ迫リタルモ上陸スルコトナク退却セリ

一日二〇四五久米島ニ上陸セル敵ハ二日〇五四五上陸用舟艇ニ

依リ慶良間方向ニ退却セリ

三〇五〇〇那覇港内艦艇一五〇小艇ノ動キ活潑ナリ〇六五〇嘉  
一六二二  
一五九六  
一五八七  
一五八八  
一五八九  
一五九〇  
一五九一  
一五九二  
一五九三  
一五九四  
一五九五  
一五九六  
一五九七  
一五九八  
一五九九  
一六〇〇  
一六〇一  
一六〇二  
一六〇三  
一六〇四  
一六〇五  
一六〇六  
一六〇七  
一六〇八  
一六〇九  
一六一〇  
一六一一  
一六一二  
一六一三  
一六一四  
一六一五  
一六一六  
一六一七  
一六一八  
一六一九  
一六二〇  
一六二一  
一六二二  
一六二三  
一六二四  
一六二五  
一六二六  
一六二七  
一六二八  
一六二九  
一六三〇  
一六三一  
一六三二  
一六三三  
一六三四  
一六三五  
一六三六  
一六三七  
一六三八  
一六三九  
一六四〇  
一六四一  
一六四二  
一六四三  
一六四四  
一六四五  
一六四六  
一六四七  
一六四八  
一六四九  
一六五〇  
一六五一  
一六五二  
一六五三  
一六五四  
一六五五  
一六五六  
一六五七  
一六五八  
一六五九  
一六六〇  
一六六一  
一六六二  
一六六三  
一六六四  
一六六五  
一六六六  
一六六七  
一六六八  
一六六九  
一六七〇  
一六七一  
一六七二  
一六七三  
一六七四  
一六七五  
一六七六  
一六七七  
一六七八  
一六七九  
一六八〇  
一六八一  
一六八二  
一六八三  
一六八四  
一六八五  
一六八六  
一六八七  
一六八八  
一六八九  
一六九〇  
一六九一  
一六九二  
一六九三  
一六九四  
一六九五  
一六九六  
一六九七  
一六九八  
一六九九  
一七〇〇  
一七〇一  
一七〇二  
一七〇三  
一七〇四  
一七〇五  
一七〇六  
一七〇七  
一七〇八  
一七〇九  
一七一〇  
一七一〇

總無線艦所用共通符號

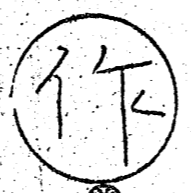
開始〇〇三〇

〇一三三

手納港戰艦二 巡洋艦七 驅逐艦一三 輸送船一九 上陸用舟  
 艇四一 驅潛艇二 漂泊上陸作業中ナルモノノ如シ ○九〇〇 漢  
 川沖日又ハ〇五D四W八P三七上陸用舟艇二〇〇ハ煙幕ヲ展張  
 距離一哩ニ迫リアルモ未ダ上陸セズ  
 三 沖繩方面敵機動部隊一三〇 ヘダア二八空母八隻 巡洋艦及驅一  
 逐艦計二三隻ハ陸司偵報(〇二一〇ヘテス二九空母中戰艦一隻  
 發見〇一〇五ソレノ一八 〇一四五ヘフク三二 一日二三〇五  
 ソネヤ二九ニ夫々大部隊ヲ探知セルモ詳細不明ナリ

四三 受領 〇〇九三〇 歸了 一三三〇 〇 〇 一七五九 作 動

大島防備隊



大 長 臣 天 聯合艦隊司令部 佐 領

機密第〇二一八三〇番電

發 大島輸送隊指揮官

宛 第三輸送隊司令

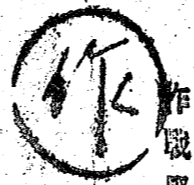
大島輸送隊(一四五及一四六輸送艦一七及四九驅潛艇)ヲ率一日〇一  
 一〇出撃敵航空圏外ヲ行動シ佐世保歸投ノ豫定第一七號輸送艦ハ曳  
 航ノ見込ミ全クナク一七號機密第〇二一四三〇番電ノ如ク處置シ差  
 支ナキヤ歸投時當地ニ於ケル患者及遭難艦船乗組員約三五〇名ヲ收  
 容抗路豫定ノ對潛警戒ニ關シ爲シ得ル限り御手配 度  
 發 着日時後報  
 通 一八〇五 口一〇ケ七(九七三〇KG) 佐二放 門奈(田中)

4~3



4~2

◎新竹航空基地



作戦要旨

◎第五基地航空部隊戦闘報告信送所

機密第〇二二七二四番電

二分ノ二二

夜戦敵機襲撃 (四月一日)

沖繩周邊敵艦隊攻撃月光二機一日二三〇〇發進一機〇二四五攻撃  
 〇七〇五歸着〇二〇〇戦場突入〇二三〇座間味島北五軒ニ輸送船  
 (七〇〇〇噸級)三巡洋艦三駆逐艦一〇針路五〇度速力八節ヲ發  
 見〇二四五右舷送船ヲ攻撃效果ヲ確認シ得ズ攻撃時機烈ナル防禦  
 砲火ヲ受ケ右補助翼ニ被彈夥シ(隊内修理可能)右ノ外久島島ノ  
 西一〇軒戦艦又ハ巡洋艦五機逐艦五針路五〇度速力一二節並ニ一  
 渡名喜一島南端ニ火災ヲ認ム戦場ノ天候晴雲高三〇〇米視界一〇  
 軒他ノ一機ハ發動機故障ノ爲引返ス〇〇四〇歸着。

道一四六九・一四九一 呂一B々七(三七八二、五〇〇)五下七〇四 内山・淺沼(玉谷)

天

機密第〇二二七二四番電

◎新竹航空基地

〇二二七二四番電

2010

4-2

小嶺山司令部

天



作戰緊急

八五

航空

小嶺山司令部

機密第〇二二七〇五番電

第五基地航空部隊司令作第五五附屬

明三日ノ作戰本日ニ準シ南西諸島空石垣島部隊ノ攻取時機指揮官所定。

通一三九一 呂一Bケ七 (一三三四七五) 放 明比 (機密)

4-2

喜界空基地



作戰緊急 喜界空基地

● 麻屋空基地。串良空基地  
● 南西諸島空。

機密第〇二一六四五番電

一五二五P六P P四〇一二 一二機來襲砲臺及飛行場ヲ銃爆

一六〇八迄ニ擊退

戰果 擊破二機 被害 戰死兵一 負傷兵二 高射器破損使用不能。

通一四八五 才十五(一一三四七。五〇) 五PGB放

森津(三)

4-2

作戦緊急



○ 七基地航空隊除作命若備置所

機密第〇三二六二八番電

七基地航空隊司令部 〇三二六二八番電

本隊司令部夜間調整部隊ヲ一式陸攻八機ニ改ム

ヲ七五三空司令ハ有兵力ハ搭乗員ハA級)ヲ鹿屋ニ進出セシメ八〇

一部隊指揮官ノ指揮下ニ入ラシムベシ。

通一三九八 呂一〇(七八七五IC)一KFOB

(吉田)

機密第一八四〇

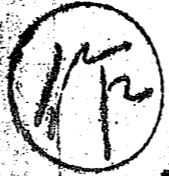
鹿屋航空基地

九月〇日 〇三二六二八番電



4-2

鹿屋空基地



緊急

急

第一機動基地航空部隊天作隊部隊作戦命令着信箇所

機密第〇二一五五六番電

一 K F O 天敵情速報  
陸軍司偵報一〇五〇那網二一四度三〇裡ヲ東北道中ノ輸送船團大型  
輸送船一三ヲ先頭ニ中型輸送船三九隻並六列トナリ警備ト東北道中  
ニシテ新ニ現出セルモノト判断セラル。

第一四二五

〇一B々七(七八七五K)

一 K F O 放

水谷(鈴三)



4-2

作戰緊急



● 第一機動基地航空部隊天二作戰部隊作戰命令着信監所

● 總無線監所用共通符號

機密第〇二一五〇九番電 三分ノ二二三

一 天信電令作第三三號

當部隊ハ本日以降沖繩方面攻略部隊ニ對シゲリヲ戰攻撃強化續行  
スルト共ニ好機敵機動部隊ヲ擊滅セントス各隊ハ左ニ依リ作戰ス  
ヘシ

一 一部隊約三機日出一時間前ヨリ日没二時間前迄索敵觸接三〇  
分間待機

一 一九〇〇ヨリ日出四時間前迄三〇分間待機  
一 四四〇、一四一二 呂一B (七八七五K) 一KFG放  
一 四一九 東、齊藤、羽金、雨谷

4~2

七六二部隊電令作第一四七號  
 可動全力及五五〇一約半兵力ハ本日概木日出後各基地發進沖繩  
 周邊ノ敵部隊ヲ攻撃スベシ。

機密第〇二一五〇七番電

通一三二四

才十五(七八七五K)一KFGB放

櫻井(餘)三



作戰緊急

官 崎 空

地 屋 空 基地

第一機動基地航空部隊天號作戰部隊機務信務所

9. 爾餘兵力ハ指揮官所定ニ依リ利又  
 八和2準備姿勢  
 10.8 #48 兵力ハ同部隊指揮官所定。

- 三、關東空部隊約三分ノ一兵力ハ日出三時間前ヨリ
- 四、六〇一部隊二一〇部隊二五二部隊約三分ノ一兵力日出ヨリ日没二時間前迄攻撃(特攻)一時間待機
- 五、七六二部隊及七〇六部隊銀河爆裝隊約半兵力日出時ヨリ日没三時間前迄遠距離攻撃(特攻)一時間待機
- 六、七二一部隊戰爆隊七六二部隊(九八〇七〇五〇一)八〇一部隊瑞雲隊一三一部隊天山隊日出時迄索敵攻撃一時間待機七〇六部隊(銀河爆裝隊ヲ除ク)指揮官所定ニ依リ沖繩周邊敵部隊連續攻撃
- 七、二〇三部隊三四三部隊指揮官所定遊撃
- 八、八〇一部隊陸攻(雷撃隊)及七二一部隊陸攻ハ兵力整頓次第指揮官所定ニ依リ第六項ニ準ジ攻撃
- 九、爾餘ノ兵力ハ指揮官所定ニ依リ第一又ハ第二準備姿勢

開始一六一〇

4-2

6010

天

1/12

作戰緊急

第一機動基地航空部隊戰機着信艦所

鹿屋空基地

機密第〇二一四二八番電

天信電令作第三二號

七六二部隊(九八〇・七〇・五五〇一)及七二一部隊戰機隊、指

揮官所定ニ依リ沖繩周邊ノ敵部隊ヲ攻撃スベシ。

通一三二一 才十五(七八七五K) 一五〇〇 故

深井(鈴三)

四二 設信一六二〇五 譯了 一六三五 航本